

大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

Outcome report

計画名 Plan	日清戦争講和過程の日本外交史研究：イギリスでの史料調査
氏名 Name	明海 輝
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	法学研究科法政理論専攻博士後期課程 1 回生
渡航国 Country	イギリス
渡航日程 Travel schedule	2025 年 1 月 23 日 ~ 2025 年 2 月 22 日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

本渡航の目的は、日清戦争の講和過程における日本外交の解明に資する史料をイギリスで収集することであった。日清戦争当時のイギリスは、香港での軍事拠点や上海での経済利権を有していたため、日清戦争の動向を注視しており、日本外交に関する情報も積極的に収集していた。実際、日本でも閲覧可能なイギリスの史料を分析すると、日本の外交文書や私文書では十分に触れられていない日本外交の姿が描かれていることが判明した。そこで、イギリス現地の史料館を訪問し、日本では閲覧できない史料を活用することで、従来の研究を更に発展させることが可能となると考え、イギリスでの史料調査を計画した。

本渡航において計画した史料調査先は、①The National Archives、②University of Oxford の Bodleian Libraries、③National Library of Scotland、の 3 カ所であった。具体的には、①ではイギリスの外務省文書及び海軍省文書、②では日清戦争時代にイギリスの外務大臣を務めた Kimberley 及び大蔵大臣を務めた Harcourt の私文書、③では当時イギリスの首相を務めていた Rosebery の私文書、をそれぞれ調査する計画であった。

成果 Outcome

前項で記した 3 カ所の史料調査先を訪問し、非常に多くの史料を収集することができた。本項では、それぞれの訪問先で収集した史料の概要、及び印象に残った史料について記すこととしたい。①では、日本での閲覧が困難な史料を中心に閲覧した。一方、日本で閲覧が可能な史料についても、日本ではマイクロフィルムでの閲覧に留まり現物を利用できるわけではないので、時間が許す限り収集を行った。その中では、史料の現物を可能な限り利用することの重要性を再確認させられる場面が複数回存在した。例えば、現物を確認することで、史料にカラーのペンを利用した書き込みが存在することを認識できるが、白黒のマイクロフィルムで閲覧する場合にはそうしたカラーの書き込みを判別することはできないのである。

②では、Kimberley や Harcourt の私文書の中で、外交関係者との書簡を中心に収集を行った。外務大臣であった Kimberley の私文書には、各国の駐英外交官との往復書簡も多く残されており、その中には日本の駐英外交官のものも一定数含まれていた。こうした書簡は、日本の史料には記録があまり残されていない、日本の在外外交官が任国政府に対して行った外交活動の実態を示すものであり、日本外交の解明に大きく貢献するものであると考えられる。③では、Rosebery の私文書の中で、日清戦争期の書簡を幅広く収集した。Kimberley や Harcourt といった人物との間で交わされた書簡も勿論多く存在したが、日本人留学生との往復書簡が存在し、

その中では日清戦争の講和問題に触れられていることが非常に印象的であった。

今後の展望 Prospects for the future

今回の渡航では、調査すべき史料の量が膨大であったため、撮影による史料の収集を優先した。そのため、今後はまず、収集した史料に記されている内容の精査を行うことが必要となる。そうした作業を経て、今回の渡航で収集した史料を組み入れた博士論文の執筆を行うことを予定している。

また、今回の調査を通じ、今後海外で行うべき史料調査の方向性が明確となったため、来年度以降の史料調査計画の立案も行いたい。

末筆ながら、以上のような充実した調査を行うに際し、ご支援をいただいた京都大学大学院教育支援機構（DoGS）に心より御礼申し上げます。